



建交労



2021年11月16日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2021年秋季年末闘争 No.6

2021年度推進ニュース②通算236号

発行責任者 小島 茂

“交運共闘・秋の学習交流集会” 横浜で開催 5単産・単組&北海道～九州の5地方組織が参加！

交通運輸労働組合共闘会議（交運共闘）は、11月14日に秋の学習交流集会を横浜大栈橋入り口近くにある波止場会館の会議室に於いて開催、交運共闘構成組織の内の5単産・単組（自公総連、建交労、検数労連、海貨労協、国土交通労組）と地方交運共闘5組織（北海道、宮城、首都圏【東京・神奈川】、愛知、九州）22名が参加しました（講師含）。

ちなみに建交労からは中央交運共闘の鈴木正明さん（中央本部記次長）、北海道交運共闘（北海道本部）の宮沢毅さん、首都圏交運共闘（東京都本部）の佐々木仁さん、愛労連連交運部会（愛知県本部）の谷藤賢治さん、神奈川県南支部の赤羽が参加しました。

集会は、定刻の13時30分に交運共闘の光部泰宏事務局長（検数労連）による開会挨拶（兼進行役）ですすめられ、主催者挨拶を行った高城政利交運共闘議長（自公総連）は、国民生活全般がコロナ禍の影響を受けているなかでの労働組合運動（交運共闘）の困難さに触れながら交運共闘の運動と組織の前進を呼びかけました。



主催者挨拶を行う交運共闘高城議長



学習会で講演する全労働の唐井さん

つづいて集会メインの学習会に移り“交通運輸労働者の働き方”と題する講演を全労働の唐井さんが行いました。

講師の唐井さんは、労働基準監督署（監督官）としての専門職の経験も活かしながら時間外労働の割増賃金の計算方法をはじめとする労働基準法の基本や交通運輸労働者と“働き方改革関連法”との関係、さらに現在協議中の“自動車運転労働者の改善基準告示の見直し作業”の進行状況などについて解りやすく解説しました。また、講演後に行

った質疑応答でも、唐津さんは単産・単組、地方の仲間からの発言の一つひとつ丁寧に対応しました。

その後、集会は休憩をはさんで全体会議へと移りました。全体会議では、各組織から運動の現状報告などが行われ、交流を深めました。

さらに司会の光部事務局長の提起で交運共闘の機能強化に向けた意見交換が行われました。

集会は、交運共闘の安附徹事務局次長（国土交通労組）が締め括りの挨拶を行なって予定どおり17時に閉会しました。右の写真は集会後に撮った記念写真です。



翌日は“横浜港の現状を学ぶ”をテーマに船上見学が行われました。（県南支部は不参加）

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

名 前	住 所	募 金

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4
電話：03-5842-6031